

- *****
- A. 日時 2008年9月26日(金) 17時20分～19時20分
- B. 場所 建築学会会議室#202
- C. 出席者 赤尾伸一, 安藤 啓, 井上勝夫, 岩瀬昭雄, 大鶴 徹, 河井康人, 岸永伸二, 古賀貴士, 田端 淳,
中澤真司, 濱田幸雄, 平松友孝, 安岡博人, 吉久光一, 吉村純一(敬称略)
欠席者 坂本慎一, 佐久間哲哉, 佐藤史明, 福地智子(敬称略)
- D. 提出資料
- No.3-0 2008年度 第2回 音環境運営委員会議事録(案)(坂本)
- No.3-1 音環境数値解析小委員会・出版企画(佐久間)
- No.3-2 調査研究委員会主催 催し物 実施計画書(佐久間)
- No.3-3 調査研究委員会主催 催し物 実施計画書(岸永)
- No.3-4 アカデミックスタンダード AIJES に関するマトリクス再検討の御願い[環境工学本委員会資料]
- No.3-5 日本音響学会騒音・振動研究会(吉久)
- No.3-6 「特別講演会」の開催案内(吉久)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.3-0)
 - ・承認された.
 2. 環境工学本委員会(2008.9.26)報告(大鶴主査)
 - 建築環境工学実験用教材改訂 音環境は既に原稿提出済み. 2009年2月出版予定.
 - 建築環境工学用教材(環境編・設備編)改訂 音環境は浜田先生, 佐藤先生, 川井先生, 富田先生, 稲生氏へ依頼. 2009年10月中に執筆依頼.
 - 大賞業績候補 推薦は2009年1月21日選考委員会締切(功績理由書, 功績概要とも). 事前に11月21日までに事務局へ氏名のみでも届ける.
 - 文化賞業績候補 対象は会員外. 推薦は文化賞選考委員会へ. 締切12月19日.
 - 卒業論文等顕彰事業委員会委員の推薦 本年度は吉久先生(2年目). 音・振動を担当する2009年度からの委員を10月31日までに推薦する. 本委員会では推薦者を決められなかったため, 大鶴主査が候補者を挙げ, メールにて審議する.
 - 環境工学連合講演会委員推薦 環境工学として小瀬先生を推薦した.(8月15日推薦締切のため, 事後承認.)
 - 2009年度技術部門設計競技の課題 「雨を楽しみつつ都市の水問題に寄与する雨水建築」(水環境運営委員会からの提案)に決定.
 - 2008年度大会の反省 「拡声装置がない」「狭い発表会場があり, 空いている室に変更した. 予め分かっていたら柔軟に対応して欲しい. →2009年度では今回の事例を参考に可能な限り対応していく.」「9月20日(土)の食堂休業は一部食堂担当者への連絡漏れによる. →弁当で対応した」など.
 - 2009年度大会(2009年9月4日～6日) 音環境関連の分類・細分類は変更なし. オーガナイズドセッションは8件の予定. 音環境は「床衝撃音」を提案. 全件が承認された. 次回の環境工学本委員会(11月27日)までに200字程度の説明文を提出する. 平松委員(固体音小委員会主査)が作成し, メールで審議する.
 - 2009年度大会研究協議会 東北支部から提案2件. 「高齢者の環境・設備・ユニバーサル環境デザインに向けて(仮)」「非住宅建築物のエネルギー消費実態と効果的な省エネ対策(仮)». 環境工学委員会としては前者を推薦する. 決定した内容について支部から依頼がある.
 - 2009年度大会研究懇談会 テーマ案が2件ある. 「人間周りの環境」「環境シミュレーション». 他に各運営委員会から社会へ発信できるものがあれば提案する. 案があれば大鶴主査へメールする.
 - 2009年度大会パネルディスカッション 水環境から提案あり.

- シンポジウム実施報告・実施計画 音環境からの報告・計画はなし.
 - 委員の解嘱・委嘱 委嘱:伊庭氏:吸放湿材の利用 WG.
 - 環境工学研究者名簿のデータ貸し出し 4件. 全て承認された. なお, 本件に伴うメールが多いため, まとめて配信するなど配慮すること.
 - 国際交流振興基金申請 2009年2月21日に計画している国際シンポジウム(水環境)に海外から講師を招聘する. 航空運賃の高騰に伴い増額を申請. 承認された.
 - 建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方 水環境運営委員会でパンフレットを作成し, 関連諸団体へ配布する.
 - アカデミックスタンダードのマトリックス(資料 No.3-4) 社会的意義, 戦略性を考慮し, 各分野でマトリックスを見直す. 2009年1月頃までに検討し, 本年度末に環境工学本委員会で報告を行う. 採算性を考慮すると市場性のない分野はアカデミックスタンダードの制定が困難となる. とはいえ, 必要なものは制定できるように工夫が求められる. 企画・広報 WG で案を作成し, メールで審議する.
 - 環境工学技術者倫理 WG 設置 建築の分野でも倫理問題が重要視されており, 既往研究の引用(研究者倫理)や生体系を対象とした実験(研究倫理)等にまで及んでいる. 環境工学分野における倫理上の問題点を整理するとともに実態調査を行い, 今後の対応方法等について検討する. 各研究分野1名程度で構成する環境工学本委員会直属 WG を設置する.
 - 2008年度大会研究協議会で発議された「みんなががんばればどこまで CO2 は削減できるか」(吉野先生)を検討する WG を組織する.
 - 一級建築士(制度)の変更に伴い, 大学院を一級建築士の受験資格とするためにはインターンシップが必須となった. 設計のみならず設備設計を含め個々の大学で対応することは(特に地方大では)大変であり, 各支部などで情報を交換して対応していく必要がある. 受入側の企業にも大きな負担がかかるおそれもあるため, 企業からも協力を願いたい.
3. CASBEE 対応について
- 本運営委員会で審議した案を建築学会としてではなく, 井上先生・大鶴先生・佐久間先生の連名で CASBEE 委員会へ提出した.(当初, 音環境運営委員会からの提出を求められたため, 環境工学委員会へ伺いをたてたところ, 理事会承認事項となることが分かった. 先方より「何らかの団体, もしくは大学教員の名前で提出して欲しい」と依頼があり, 上記の対応となった.)
4. 小委員会・WG 活動報告
- 固体音小委員会(平松主査)
- ボールによる評価方法案作成・検討中.
 - 設備固体音 WG では論文調査を実施し, 対策事例集を作成中.
 - 2009年3月に小委員会, WG でシンポジウムを予定.
- 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(浜田主査)
- 委員会開催なし. 10月3日に開催予定.
- 建築音響測定法小委員会(赤尾主査)
- 「実騒音を用いた短時間測定法」の実測を計画していたが未実施.
- 室内音響小委員会(岸永主査)
- 「拡散」に関するシンポジウムを計画. 8月8日に委員会を開催して具体的な議論を実施した.(資料 No.3-3)
 - 音声伝送品質設計・評価指針作成WG 2008年度大会オーガナイズドセッションの準備を実施.
 - スピーチプライバシー研究 WG 音響学会での発表準備を実施.
 - 音響指標測定研究 WG ISO3382 の確認, 残響時間測定法の JIS 化など, 室内音響に関する意見のとりまとめを行う.
- 音響数値解析小委員会(大鶴委員)(資料 No.3-2,3)
- 9月9日に委員会開催.「音環境の数値シミュレーションー波動音響解析の技法と応用ー」(資料 No.3-1)を計画. 2009年4月から2011年3月の予定で企画刊行運営委員会傘下に刊行小委員会を発足させる.

- 2009年2月27日(仮)に研究会「建築部位音響性能の数値シミュレーション」を計画(資料 No.3-2)
企画・広報 WG(安藤主査)

- 9月4日にWG開催. 建築音響測定法小委員会と集合住宅の遮音性能評価水準小委員会の主査・幹事を招き, アカデミックスタンダードに関する検討を行った. 音環境関連のアカデミックスタンダードの方向性を検討するための「アカデミックスタンダード検討 WG(仮)」を音環境運営委員会の直下に常置したい. 運営委員会の了解が得られれば10月末に申請を行う. →WGの新設は本委員会において了解された. 主査・幹事は未定. 小委員会とすることも検討するが, 現時点では小委員会の数が増やせないため, WGで検討する.

5. 他学会の予定

- 日本音響学会騒音・振動研究会 10月17日福島, 11月26日つくば, 12月22日福岡, 2009年1月23日新潟, 2009年2月20日沖縄, 2009年3月6日東京(資料 No.3-5)
- 「特別講演会」11月10日東大生研, Alan Marsh氏来日にあわせて企画. (資料 No.3-6)

6. 次回の予定

- 次回は11月27日(木)17:00～ 建築会館会議室

2008年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2008.5.20(火)	実施
第2回	2008.7.25(金)	実施
第3回	2008.9.26(金)	実施
第4回	2008.11.27(木)	(決定)
第5回	2009.1.20(火)	
第6回	2009.3.16(月)	